

令和2年度 第2回 栗東市健康づくり推進協議会 会議録	
日 時	令和3年1月21日(木) 14:00～15:40
場 所	栗東市危機管理センター 3F
委 員	別紙「委員名簿」のとおり
欠 席 者	なし
記録作成者	栗東市健康増進課 古谷

【議事要旨】

1. 開会

2. あいさつ

- 会長挨拶
- 委員出席状況の報告

3. 報告事項

(1) 歯科保健専門委員会の結果報告

- 栗東市の歯科保健に関する取組みを協議しており、今年度は11月12日に開催
- ライフステージ毎の課題の確認とそれに向けた改善ポイントについて各関係機関で押さえながらアプローチできるライフステージの方へ周知・啓発していくことを共有
- 「歯科健診で歯科受診が必要と言われた方へ」のリーフレットを作成。う歯や要観察歯があった対象者へ配布し、乳歯の大切さとかかりつけ歯科医を持ち治療終了後も家族で定期受診していただく必要性について啓発。

—追加の報告事項—

(2) 令和元年度健康寿命推進プロジェクト健康づくり取り組み事例について（県実施）

- 栗東市では、介護予防分野で自治会が開催しているサロンが受賞。草津市でもスポーツを推進している団体が運動分野で受賞し、一人では継続困難だが環境づくりを行うことで市民にとって健康がより身近になるように各関係機関で取り組む必要性について。

(3) 令和元年度国民健康・栄養調査（国実施）の概要について

- 生活習慣の改善に関心はあるが「改善するつもりはない」と男女とも4人に1人が答えており、健康無関心層に対して自然に健康になれる環境づくりが必要としている。

4 協議事項

(1) 今年度の取り組み進捗状況と、次年度の取り組みについて

- 各所属から報告

(2) 健康啓発資材ポスター（案）および野菜たっぷりレシピ（案）について

- ポスターは2種類。野菜たっぷりレシピは、前回ご指摘のあった部分を修正および変更
- 追加の意見は「意見書」をFAXでいただく

5. 連絡事項

- 令和2年度実績・次年度計画表について（3/5メ）
- 「意見書」の締め切りについて（1/29メ）

6. 閉会

- 副会長挨拶

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・議事の詳細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

4 協議事項

（1）今年度の取り組み進捗状況と、次年度の取り組みについて

委員：医師会は、今年度の取り組みに関しましては、コロナの関係で十分できなかった所もありますが、学校医の方は当初緊急事態宣言の中で1学期中は行動できませんでしたが、2学期には健診業務が実施できました。学校保健委員会は開催出来ていない所もあり、ある程度出来た所です。来年度もその辺を考慮した形での活動になるかと思えます。うつ病 G-P ネットについては、産業医活動は通常通り実施され、交流会も開催でき、予定通り実施できました。歯科医師会との連携は、会を持つことが出来ず7月に歯科医師会の方とウェブ会議を開催しました。禁煙デーは中止となり、市民向けの啓発はほとんど出来ない状況でした。来年度も状況次第かと思えます。けん診は、緊急事態宣言中は差し控えがあり受診者数を心配していましたが、その後受診にも来られ、多分総数としては減少はしていると思えますが、激減した感じはなかったと思えます。今後の集計で確認が必要かと思えます。来年度に関しては、状況が分かりませんが概ね今年度の活動と準じた形でとは考えております。

委員：歯科医師会は従来計画を踏襲しておりますが、医師会様と同じく今年度は市民と触れ合うイベントを自粛しています。来年度に関しても様子を見ながら対応せざるを得ないと考えております。学校歯科健診では、従来6・7月の実施ですが、コロナ対策が明らかでなく口を開けて歯科医が児童の口の中をチェックするため、対応を協議し秋頃に実施し感染に配慮した形で児童の歯科健診を行ったと理解しております。その他、後期高齢者の歯科健診は従来通り通知し全体の傾向把握は出来ていませんが、必要な方は来ていただき例年より極端に減ったという感覚は持っておりません。かむかむフェスタ等は中止となり、市民に向けての発信は難しい中、行政や市民の方々の努力を得まして、健診等周知も頂き必要最低限の事でありましてクリアできたかと思えます。来年度に関しては、我々も国民もコロナへの感染対策が少し見えてくるのであれば、今年度よりもスケジュール通り取り組めるかなと考えますが、状況を見ながら対応出来ればと考えております。

委員：薬剤師会では、次年度の計画は今の所変更もなく継続予定です。やはりコロナ禍で公共の場における活動が少なくなっています。その代わりに、薬局内で出来るようなけん診の勧奨や禁煙の呼びかけ、定期歯科受診のお勧めと子育ての問題、巣ごもりによる心の病気がないかの確認に力を入れるように声かけの強化を行っています。今気がかりなのがコロナ禍による受診控えをかなり実感しています。小児科・耳鼻科が少ないのは当初からでしたが、それ以外の必須なお薬まで取りに來られていない方が少し増えている感じがあります。それに関しては、薬規法改定にあった継続的フォ

ローの一環として、直接患者に電話をかけて現状をお伺いし本当に飲まなくていいのかを確認する様に声掛けを実施しております。

委員：商工会のボウリング大会ですが、商工会では例年栗東駅前のウイングプラザにある栗東ボウリングジムを運営している関係もあり、各部会や支部の方に参加頂いていました。今年はコロナの関係で実施が出来ない為に、自由参加という事でチケットを配布して、参加できる方を募って今年度の大会とさせて頂き進行中の状況です。健康診査については、去年と同等の受診者がおられた。今年は、183事業所で1145名の受診があり現在も実施中です。従来は大部屋でしたが、健診でのコロナ対策として2会場に分けて実施しています。1時間ごとの対象者も従来より減らして実施しております。感染対策を講じての実施となりましたが、昨年度同様に受診いただきました。恐らく来年もこのような形で継続予定です。

委員：健康推進員の活動はボランティア活動であり、責任の所在が不安でほとんど活動できていません。2年毎の任期で引き継いだ時は既に総会もできない状態でした。役員会は月に1回あるが1時間程度で収まる様に実施。計画書には今まで伝達講習会や県から委託された色々な事業が書かれています。例年なら講習会や調理実習を実施しているが、それが困難なので、資料配布だけにとどまりました。県からは、集めるのではなく訪問活動を中心という指導を受けたが、見ず知らずの所に「ごめん下さい」とは行けないので、健康推進員のご近所の方、自分で自主活動されている仲間、知り合いの方に配布しました。学童や保育園にも資料をお届けしたが、子どもと直接お話しして渡せず、責任者の方に資料をお渡しするという形となりました。来年度もそういう形になると、健康推進員として何もできないようになってしまうので、他の団体さんや健康づくりの協議会の方と、何か出来る手立てをもう少し考えて、少しでも何かできれば良いと考えています。前年度に「野菜ダンス」を考案され、野菜食べたい活動で子ども達や住民の方に健康の為に少しでも野菜を食べてもらうための啓発ですが、それを披露する場がない。折角考えても動かないと体操も忘れてしまう。専門の方とデモを作ったが、健康推進員がそのデモを持ってまわるわけにもいかないの、自分達が携帯のラインでそれを見て練習して収録しました。こういう経験も健康推進員をしていたからの経験でしたが、調理など自分で録画して配信するような発信などもやってみたいが、そのような技術も道具もありませんので、もしそういった技術などがこちらにありましたら、ご協力頂けたらと思っています。いきいき百歳体操については、まだ集計ができておらず、それぞれの自治体でどれ位の数になっているのか把握はこれからとなります。ウォーキングは一部の学区では行いましたが、集まる事はまだ困難な状況です。調理は難しくても、外でウォーキング位はできるかなと思いますが、これも色々な考えを持っているのでなかなか統一した行動ができていない状況です。調査によると屈伸やスクワットのような足の運動が一番身近な健康作りになるという情報を聞いたので、ウォーキング位は健康推進員で啓発が出来たらと思いますが、難しい状況です。高齢者サロンの表彰を見て、健康推進員の方も参加されており素晴らしいなと思います。サロン開催にあたりパーティーを自作で作られたという話を聞き、こういう事も広めていけたら良いなと思います。食べる事が一番感染拡大に繋がるので、集まっても高齢者の方にはおやつ等は持ち帰ってもらっています。来年度、食を通じた啓発ができる状態にまで回復するか分かりませんが、少しでも地域の方に健康づくりの啓発が出来るように啓発の資料作りをしていきたいと思っています。

委員(民生委員)：子育てサロンで実施していた食育教室は、コロナで中止。いきいき百歳体操は、8月頃迄は中止し、9月頃からは密を避けてほとんどの学区で再開されました。飲食は一切せず、体操だけを実施して帰る流れでした。ニュースポーツの教室もコロナで実施がなかった。あいさつ運動の推進は、学校が休みになった時以外は、皆さん各地区の分団で集まる場所や交差点に立ってあいさつ運動を実施。児童たちはマスクをつけて、話すこともなく登校しながらも挨拶すると、元気に挨拶を返してくれていました。高齢者のゆうあい訪問は、コロナ禍で直接「どうですか？」と対面の形は控える方向のため、電話での安否確認や手紙投函の形で実施。お年寄りや心配な方には、お会いしたい気持ちがあるので、散歩中やゴミ出しの日に会えるように努力しています。お年寄りの方はコロナの中で弱くなられたとか、精神的にうつなどで閉じこもっていると定例会で聞くことがある。一日も早くコロナが収束するのを願うばかりです。今年度は活動できることが限られましたが、児童館で親子イベント開催時には民生委員もお手伝いに行き、一緒に遊んだり子どもさんの食事の話などをして実施出来ないことも多いですが、お母さんと話をしながら楽しい時間を少しずつ今は過ごしている状況です。

委員：社会福祉協議会の取り組みとしましては、主に出前講座として地域の集まりに行き、レクリエーションや体操、講座等によって健康づくりを推進していましたが、地域の集まり自体が非常に少なくなり、実施はしていますが数としては減少している現状です。又、運営している老人福祉センターでは来所いただく取り組みをしておりますが、個人利用者数はそれ程変わりませんが、団体利用者は減っており総数としては減少しております。民生委員児童委員協議会との「若返り健康教室」は、中止。集まる事が難しいので、当会としては、集まりがなくてもそういった繋がりを絶やさないと啓発やスタッフと一緒に考える取り組みをさせて頂いている所です。来年度につきましてもコロナ対策を講じながら、今年度と同様な取り組みをどこまで進めていけるかになってくるかと思えます。

委員：小学校はコロナで健康診断が6月から12月頭まで延びてしまい、全ての事がずれ込み中止を余儀なくされた行事が多くありました。運動会も縮小、講演会は中止、保護者が一斉に学校で集まる事も出来ず、参観も地域別に実施し学校行事に大きな変化があった1年でした。食については、お弁当作りや調理実習で一切指導ができず、朝食摂取率の調査も中止となっています。ただ、栄養士による指導巡回については各学校を回り補っていただきました。身体活動・運動については、本年度新体力テストも実施しておりません。小学校においては、体力作りと名の付く持久走大会やみんな遊び、生徒会が主催するような球技会等全て中止となっています。先程も言いましたが、運動会は種目を減らし、体育祭では学年で日を分けて実施する形で乗り切りました。休養・心の健康については、『くりちゃん元気いっぱい運動』の推進という事で子ども・保護者に対して実施していかなければならないが、参観もなく保護者が一斉に集まれず講演会も中止となりました。「ふだんの生活習慣アンケート調査」をいつも6・7月に実施しているが、学校が休業になり今年に限っては調査が出来ていない学校もあります。学校保健会での啓発は、実際に保護者を呼んで実施できている学校は本当に数える程しかありません。学校の先生にも依頼をして、学校の職員向けの実施や紙面報告として実施したという事も聞いております。休養・こころの健康の教育相談は、例年2回～3回学校でいじめアンケートをとり教育相談週間を実施していますが、1回目は実施するチャンスがなく、2回の所や1回の実施で終わっている学校もあります。その分、スクールカウンセラ

一(SC)とかスクールソーシャルワーカー(SSW)を活用し、個別対応という事でカバーをしておりますがコロナにより心の影響、心身の影響という事で、不登校が少し増えたり学校に行き渋る子ども達も見られ、ゲーム漬けの日々を送っている子どもも実際に増えてきています。コロナ禍による学校の新たな問題として取り組んでいる学校もあります。歯と口腔の健康では、今年はやはりコロナ禍でマスクを外して歯磨きをする事を懸念して歯磨きを強化して実施していくことを差し控えている学校が大変多く、学校での歯磨き時間をなくした所もあります。歯磨きカレンダーの配布を控えたり、実際に歯磨きができないのでエアでやったり、教材をすごく工夫することで授業の中では啓発できたものの、実際に子ども達が歯を磨きながら取り組む事はできませんでした。個別指導も実施できていません。歯磨き調査も6月には実施出来ず、何とか結果を残すために11月に実施しましたが、例年小学校では80%を超える実施率が50%台という状態でした。歯科受診の勧奨は、年2回実施し1回目は結果をお知らせして、10・11月位に再受診の勧告をしていますが、歯科健診自体遅くなったため、今年は再配布はしない方向で市の養護教育部会で決定を致しました。外部からの講師を招いた歯科指導は従来通り実施ができて良かったなと思っております。喫煙防止教室がなくなり、少年センターからパンフレットを作り各学校を回って頂けるという事がありました。薬物防止教室やがん教育についても一部できないというような返答をもらっている学校もありますが、何とか工夫して2・3月で実施出来ればと考えています。けん診は、計画に記載されている内容は実施できましたが、教育という部分は、がん教育まで実施出来なかったと報告している学校もあり、昨年度100%実施できていたものが今年は下がる可能性があります。

委員：保健所では、事業はほとんどストップしておりコロナ対応に総出の状態です。少し落ち着いた時に歯科関係で動画配信を考えていたが、12月頃からコロナの感染がぶり返し対応に追われている所です。禁煙・受動喫煙の防止についても街頭啓発についても今年度は中止となり、庁舎内でポケットテッシュを自由にお取りいただく形で配布を試みているという所で、コロナの様子次第で事業を進めたり対応していく予定です。

委員：先程、委員(保健安全部会)より学校での取り組みを説明頂きました。

学校教育課では、本年度並びに次年度の動きについて報告いたします。一つは、現在の3密防止、ソーシャルディスタンスの確保等により、子ども達を混ぜられない為に色々な研修機会が頓挫しております。健康増進課とともに進めてきました喫煙防止教室も、紙面による資料提供にとどまりました。その他、委員(保健安全部会)よりご報告頂きましたPTAを交えた活動等については多くの人が集まるため、ほぼ中止しております。また、子ども達の体験的な活動で外に出る事も一定中止になりました。そういった中でも今回のコロナ禍で一步進んだものがあります。例えば保健室におけるオートクレーブの導入、これは市の計画で言うと5年10年かかる予定でしたが、国の後押しもあり一気に進みました。また、保健安全部会で率先して実施している、健康観察の家庭版を学校で検討し各家庭で健康管理を実施する仕組み作りも一定進みました。そういった意味では、この時期だからこそ出来なかったものもありますが、逆にこの時期だからこそできたものもいくつかあったという年です。次年度に向けて、教育部と合わせて子ども青少年局の間で進めているものがあります。学校教育課及び生涯学習課それぞれが中心となり進めて参りました「栗東子育て12か条」や「くりちゃん元気いっぱい運動」を見直し、0歳から15歳までを一貫して見ていこうと考

えております。例えば、15歳の時に食生活や時間を守るという習慣をつけていく為には0歳の時にどんな支援が必要か、或いは3歳や5歳の時にはという形で取り組みをこの1年間かけて幼児課・生涯学習課・子ども青少年局の多くの方々と進めて参りまして、それがようやく完成を迎えます。令和3年度は「子育て教育ビジョン(試案)」を園や小学・中学へ提案予定です。今度、総合教育会議で承認予定ですので、本日は口頭での報告とさせていただきます。0歳から15歳を一貫して旬に応じた支援を役割分担して支援する視点に切り替えつつあります。

委員：生涯学習課では、食に関する講座として平和学習を今年度は8つの学区で実施。例年実施している食事体験は中止し、あくまで学習会として開催しました。親子クッキング教室は、4会場で実施。ただし、これも定員を例年の半数にして開催しました。はつらつ教養大学の食育栄養講座は、昨年度までに全ての学区で1回ずつ開催し今年度は未実施です。今後につきましては、それぞれの学区の要望等を踏まえて講座の内容を検討し食育につながるようなことが出来ましたら、対応出来ればと思っています。

高齢者の生きがいくくりと社会参加・参画の推進では、はつらつ教養大学を各学区ごとにコミュニティセンターを会場として実施しております。年5回シリーズですが、1回目は緊急事態宣言も出ており中止しております。今年度は4回の予定で2月開催分を今準備しております。こちらも当然新型コロナ対策を考えながら、例えば非常に参加者の多い所は講師の先生に無理をお願いして、1日2回開催したところもございます。市内の小学6年生を対象に薬物乱用防止教室の開催もさせていただきました。啓発チラシを用いて、少年補導委員会の役員さんが協力して実施しております。中学生へは、啓発標語入りティッシュとマスクを全校生徒に配布しました。

委員：例年保育園・幼稚園では6月末までに内科・歯科健診を実施しておりましたが、コロナの影響で7月以降の開催となりました。園医には大変お世話になっています。歯科健診の結果、受診が必要な場合、受診結果を提出する流れになりますが、年々受診者が増加していましたが、今年は健診から受診結果提出までの時間が短く受診数が減少傾向でした。資料3を保護者啓発に作って頂いていますので、又来年度からはこれも活用させて頂きたいと思っせて見せて頂いていました。園ではむし歯が無くても定期的に受診する事、仕上げ磨きの大切さを啓発しています。特に仕上げ磨きの大切さについては、子どもの年齢が上がるごとに認識されていく、子どもが自分の歯に関心を持って大切にしていけるようにするには、家庭と協力して取り組むことが重要であると考えています。年長児については、6才臼歯についても分かりやすく確認できるようにしています。昨年度より滋賀県歯科衛生士会に歯科指導を依頼して実施しています。コロナの関係で6月から8月にずれましたが全園予定通り実施出来ました。去年は、歯ブラシを持って一緒に磨き方も実践しながら教えていただきましたが、今年度歯ブラシ指導は中止としました。それでも、子ども達は良く分かるというて楽しく磨き方などを教えて頂き来年度も継続予定です。

委員：長寿福祉課です。栄養・食生活の中の体重測定の推進では、フレイル予防の個別相談事業実績は0ですが、基本チェックリストに該当される総合事業対象者へ栄養士さんが自宅へ出向く事業で参加者が一人おられ、計5回実施する事ができました。来年度も継続予定です。身体活動・運動のトレーニング機器開放事業は、機器を共有して高齢者の方が使用し、消毒も十分に行えないことから

現在午前開催（月～金）を中止しています。午後開催の心疾患や整形外科的疾患のある方、少しリスクの高い方は、事業所に委託してスタッフが常駐し実施しております。栗東市は虚弱な方が運動できるデイサービス、デイケアが資源として少ないのでなるべく利用できるようにと 8 月より再開しています。月に 10 名程の利用になっているので、これまでの利用者が家に閉じこもり要介護状態になっていないか心配もあります。コロナ収束時には、高齢者が虚弱になられる可能性もあり、今後課題として出てくると思っており、そういう所の活動も必要かと思っています。いきいき百歳体操は、75 団体あり 3 分の 2 程は再開しています。コロナが再流行しており、又中止する団体もあるだろうと聞いています。再開していない 3 分の 1 は、自治会開催ではなく、コミュニティーセンターを借用して実施している団体であり、責任はどこにあるのかという事でなかなか再開できない状況です。代表者の方も、再開に向けて相談に来られており、その都度相談対応している状況です。来年度、自治会より新規で 1 団体実施希望を聞いておりますので、立ち上げの支援が出来ればと思っています。休養・こころの健康の高齢者の生きがいくつと社会参加の推進で、栗東 100 歳大学は中止とお伝えしておりますが、代わりに繋がりが大事という事で高齢者の方もリモートで繋がれる様にズームの講座を 2 クール実施しました。実人数が 24 名で延べ 84 名参加しております。3 クール実施予定で 1 月中旬に実施予定でしたが、高齢者でありパソコンを共有するという事、講座中質問も多く隣でお伝えするため、少しリスクが高いかなどという事で 3 月に延期となりました。歯と口腔の健康では、「口元から始めるアンチエイジング若返り講座」を 1 回実施予定でしたが、コロナで中止しております。「かみかみ百歳体操」の普及啓発は、やはり口腔ということで、口腔体操の内容もあり控える団体も多くなっていますが、気を配りながら実施される団体もあります。こちらも来年度どういう風に再開に向けて支援できるのかが課題になっております。定期的な歯科健診の受診啓発で百歳体操時に歯科衛生士が入り、啓発をさせてもらいましたが、出前講座の依頼がなく今年度は 1 回の現状です。

委員：スポーツ・文化振興課です。コロナ禍においてたくさんの人が集まる事業と言うことで、様々な事業が中止、その中でも出来る範囲で実施したり、やり方を変えたり今までにない事を考えなければいけない 1 年でした。ニュースポーツの普及は、本来なら学区で開催されるみんなのスポーツ講習会が中心でしたが既に中止となっています。ふれあいニュースポーツ大会（9 月）も中止しております。ただ、各学区の地域振興協議会の体育部会で出来る限りの対策を講じられて 9 学区中 5 学区は何らかの形で健康づくりのための体育部会事業を実施され、スポーツ推進員を派遣しローイングビンゴやボッチャの説明など指導を実施しました。後はスポーツ推進員の新たな取り組みとして地域に向かっていけない分、何か出来る事とということで、動画作成を行いました。内容は、ニュースポーツ（サンコ・卓球バレー・スローイングビンゴ）の紹介で 1 つ 3 分ほどの短いもので市のホームページで公開をしております。スポーツ事業の実施は難しいこともあり、11 月 23 日「くりちゃんファミリーマラソン」は中止。耐寒アベック登山大会は、先日 1 月 17 日、例年とやり方を変えて行い 240 名の参加がありました。例年は、当日の参加受付で金勝小学校を出発して、ゴールの金勝寺でおにぎりや豚汁を振る舞っていましたが、この辺りを変更し事前の参加申し込みとし、まかないはペットボトルのお茶にして、検温や消毒等対策を取りながら行いました。あとスポーツ協会では、社会体育施設の指定管理者ということで色んな事業の取り組みを実施され、スッキリ体操やストレッチ体操をコロナで休館後開館してから 1 回あたり 30 人程度の参加を

頂いています。事業の紹介としては、秋の健康測定会を10月に実施。取り組みについては、実施出来る限り実施させてもらいましたが、来年度以降状況を見ながら出来る限りの実施という形になると思います。

事務局：健康増進課の取り組みとしては、今年度テーマである「禁煙・受動喫煙の防止」の取り組みについて報告いたします。例年、学校教育課に依頼し市内全小学5年生および中学1年生を対象にタバコをテーマに医師による喫煙防止教室を実施しておりました。今年度は新型コロナウイルスの関係で中止となりましたが対象児童や保護者向けのチラシ配布であれば可能と言う事で済生会の稲本先生に監修してもらいチラシ作成を行い、年明けに学校を通じて配布することが出来ました。次年度の喫煙防止教室については、再開に向けて調整中ですが、対象児童や保護者向けのチラシも継続して配布し子どもだけではなく家族一緒にタバコについて考えるきっかけになるように啓発していければと思っています。

次年度については、最終評価・計画策定前の1年となりますので、より一層の健康啓発に努めたいと思っています。

○質疑応答

委員：生涯学習課より追加させていただきます。児童の放課後の居場所づくりですが、昨年度は8学区で実施をしましたが、今年度は2学区（葉山東・治田西学区）のみの開催となっています。なおかつ密になってはいけないという事で募集人数を減らして実施をしております。もちろん来年度につきましては、できれば元に戻したいと考えておりますが、今後の状況をみきわめて判断していくという事になります。

事務局：お願いと質問という事で今年度に関しましては、中止あるいは縮小という中でも、健康について意識しながら市民の方にお伝えいただけたのかなと思います。来年に関しましては、コロナの状況がすぐに良くなることは恐らくない中で、又皆様の方で事業の実施の判断や方法の変更をしていただきながら、事業の実施をして頂くことになろうかと予測されるのですが、限られた事業の中で少ない時間でも構いませんので、健康りっとう21の中で進めたい健康の内容ですとか評価指標を意識しながら市民さんにお伝えいただく事をお願い出来ればと思います。

質問ですが健康推進員より活動はしたいけれどなかなか披露する場がないと話されており、それは皆さんの所でご考慮頂けたらと思うのですが、「野菜いっぱい体操」のDVDがあれば、どんなものかというのを見せて頂けたらなと思います。実際に委員の方も見られたことはないかと思うのですが、可愛い体操だと思いますし皆さんで活用できればと思うのですが。

委員：AKB48の曲を使用した体操でホームページなどに掲載できればと良いのですが、著作権の問題で何か問題が起きたらと悩んでいた。自分達が出向いて披露する分には問題ないと思うんですけど、もしそういう事ができなければ、学校などで活用して頂ければと思います。

事務局：子ども達が踊る分には構わないですよ。大きく大々的にやるとまずいという事ですね。

DVDお借りできるのであればお願いします。

会長：集まって行える活動が非常に限られておりますので、何か活動方法の工夫みたいなもの、それぞれの機関で動画などといった物を考えておられるという事ですので、又そういったものも利用して、活動が続けられるようなものを工夫していかないといけないのかなという様な事も思いました。